

## 2020 山形県ジュニアサッカー大会 (U12) 実施要項

1. 主催 NPO法人山形県サッカー協会
  2. 主管 NPO法人山形県サッカー協会4種委員会／ 酒田地区サッカー協会4種委員会
  3. 目的 山形県内の少年サッカー技術向上とサッカーを通して心身の健全育成をと親睦を図る。
  4. 期 日 令和2年10月24日(土)～25日(日)
  5. 会 場 庄内空港緩衝緑地多目的広場
  6. 参加資格
    - ①公益財団法人日本サッカー協会(以下「JFA」)第4種に加盟登録し、スポーツ傷害保険等に加入していること。
    - ②小学6年生以下の単一チームで構成されていること。
    - ③参加選手は、原則としてJFAの発行した加盟チームの選手登録証(写真付)を持参すること。  
※選手証とは、JFAWEBシステム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、PC等の画面に表示したものを示す。
    - ④引率指導者は、参加チームを掌握指導する責任ある指導者であること。また、ベンチ入りするチーム役員は2人以上3人までとし、内1名以上がJFA公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。原則としてJFAの発行した公認指導者ライセンス証(写真付)を持参すること。  
※公認指導者ライセンス証とは、JFAWEBシステム「KICKOFF」から出力した公認指導者ライセンス証を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、PC等の画面に表示したものを示す。  
※本大会は「JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン」([https://www.jfa.jp/about\\_jfa/guideline.html](https://www.jfa.jp/about_jfa/guideline.html))、「試合の開催について」及び「新型コロナウイルスの影響下における参加チーム遵守事項」を適用し、開催運営します。各チームはガイドライン等をチーム関係者に周知し遵守の上、参加してください。  
参加チームは「新型コロナウイルス感染拡大防止対策チェックリスト」1部及び「山形県サッカー協会 大会参加者健康チェック表 チーム用」2部を記入作成し、監督会議まで会場本部に提出してください。なお、大会参加者健康チェック表は選手、指導者のほか、会場に入場する保護者等を含めて作成してください。
  7. 参加チーム数 県内各地区予選を勝ち抜いたチーム 計16チーム
  8. チーム構成 原則としてチーム編成は、引率指導者3名(監督1・コーチ2)選手16名以内とする。
  9. 大会形式 トーナメント形式とする。  
試合終了時点で勝敗が決しない場合は、試合終了時に出場している3選手によるPK戦とする。  
ただし、決勝戦のみ10分間の延長を行うものとする。(5×5)
  10. 組み合わせ 別途組み合わせとする。(別紙参照)
  11. 競技規則 2019/2020年度JFA「サッカー競技規則」及び「8人制サッカー競技規則」による。但し、以下の項目については、特に本大会用として大会規定を定める。
    - 1) プレー時間：20分前後半制・インターバル5分
    - 2) 選手交代の人数はエントリー人数以内とし交代の回数は制限しない。また、交代して一度退いた選手が再び出場できる自由な交代とする。但し、交代の手続きは、JFA「8人制競技規則」による。
    - 3) ゴールキーパーは事前に主審に通告した上で試合停止中交代することができる。
    - 4) 試合中に不慮の事故等で選手が6名以下になった場合は試合中止(棄権/0-5)とする。
    - 5) 試合球はJFA公認4号球(検定球)とし、各チーム持ち寄りとする。
    - 6) 暑熱下において、本部判断により、前・後半中程にCooling Break又は飲水タイムを採用する。
    - 7) ベンチ内の人数はエントリーされた選手と指導者(役員)2名以上3名以内とする。
    - 8) ベンチはベンチ側からコートに向かって左側が若い番号とする。
- (警告・退場)
- ①競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。但し、常に8人でプレーするものとする。
  - ②本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律委員会で決定する。
  - ③本大会の異なる試合において警告を2回受けた競技者は本大会の次の1試合に出場できない。

④その他詳細については本大会規律委員会で審議し当該チーム及び選手に通知する。

(サイドコーチ・異議)

ベンチ(監督・コーチ・スタッフ・役員)が、判定に対して、異議を唱えたり、選手に対して、罵声などネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を、受けたのちに再度同様な行為があった場合、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。

(審判員) 4人制とする。

各チーム帯同審判として有資格者2名(うち1名は3級以上)を準備すること。

試合開始15分前、本部に審判証を持参して集合すること。

※審判証とは、JFAWEBシステム「KICKOFF」から出力した審判証を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、PC等の画面に表示したものを示す。

- (ユニフォーム) ①JFAのユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- ②本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- ③選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。ただし、背番号は1～99番とする。
- ④ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
- ⑤ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
- ゴールキーパーは、ピブス着用での試合出場は不可とする。ただし、ゴールキーパーのケガなどにより、フィールドプレーヤーがゴールキーパーをしなければならなくなった場合に限り、ピブス着用を認める。
- ⑥主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ⑦前項の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組合せを決定することができる。
- ⑧ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑨アンダーシャツ・ショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

(ピッチサイズ) 通常の少年用サイズとします。

(その他) テクニカルエリアを設ける。アディショナルタイム表示はしない。

12. 不測な事態や事項が発生した場合、大会本部・4種委員会が協議し判断する。

13. 表彰  
優勝 賞状・優勝カップ・メダル  
準優勝 賞状・準優勝盾・メダル  
第3位 賞状・第3位盾・メダル  
第4位 賞状

14. 大会参加費 5,000円(当日大会本部へ納付のこと)

15. 参加申込及び連絡先  
①参加チームは大会プログラム用メンバー表を10月11日(18:00)まで下記宛に提出すること。  
②但し、順位の確定しない地区は、プログラムの作成の関係上、早急に提出のこと。  
提出先 E-mail ya4shu2018@yahoo.co.jp  
連絡先 山形地区サッカー協会4種委員会 早坂 正伸

16. 負傷者等に対する対応と災害発生に対する措置について

- ①大会中における怪我や事故等については各チームの責任に帰するものとする。  
②各チームにおいて熱中症予防(対策)に努めて下さい。

③災害等が発生した場合は、会場の災害対応マニュアルに従い避難する。

17. その他

①本大会の実施に関し、要項に定めのない事項や、本大会参加中、試合中に限らず選手に対する著しい言動や行動があった場合には、大会本部にて事実確認を行い何らかの処分対象とする。

18. スケジュール

①開会式は実施しない。

②大会両日において各チーム試合開始1時間前に当該チームによりマッチミーティングを本部にて実施する。(※監督又はベンチ入りスタッフが必ず参加すること)

持参するもの FP・GKシャツ、パンツ、ソックス(正・副)、メンバー用紙、選手証、指導者証(ベンチ入りスタッフのみ)、試合球

10月24日(土) AM9:00 キックオフ

10月25日(日) AM10:00 キックオフ PM1:00閉会式(表彰式)

山形1位	すぎのこFC
置賜4位	小国SSS
置賜1位	アビーカ米沢FC
山形5位	うめばちサッカー少年団
酒田1位	松陵ドリームズサッカースポーツ少年団
山形4位	S・F・C シェラーレ
鶴岡2位	Quinto 鶴岡FC
新庄2位	尾花沢FC

新庄1位	北村山ユナイテッド
山形2位	北斗FCスポーツ少年団
置賜2位	川西JFC
鶴岡3位	三川SC jr
鶴岡1位	豊浦 jrFC
置賜3位	窪田SC
酒田2位	泉サッカースポーツ少年団
山形3位	上山カメレオンFC

## 試合の開催について

### ※基本的にすべての行動での三密は避ける

#### 【会場】

- ▶防球ネット内は、当該試合の監督・コーチ・選手・運営関係者以外立ち入り禁止とする。
- ▶基本的にスタンドの無い会場内（学校等）は、施設の留意事項に従うこととする。  
「新しい生活様式」を守りチーム毎まとまったの観戦や発声はしない。
- ▶各チームは事前に、保護者の方々が密の状況を作らず感情的になって大声で叫ばないように行動してもらえるか、協力の徹底をお願いすること。
- ▶駐車場や施設内では少人数で行動し密を避ける。

#### 【試合開始】

- ▶用具チェック 通常通り試合前に行う。
- ▶セレモニーは、相手チーム、審判との握手は実施しない。

#### 【試合中】

- ▶得点時にハイタッチ、抱擁は極力避ける。
- ▶ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する。

#### 【ベンチ内】

- ▶三密を避けた行動を心がける。
- ▶指導者も含めむやみに大声を出さない。
- ▶選手、本部、審判も含め飲料水は、個人で準備し各人の責任において処理をする。

#### 【試合終了後】

- ▶セレモニーは、相手チーム、審判との握手は実施しない。
- ▶ベンチ前（相手・自チーム）での挨拶・握手などは実施しない。
- ▶スタンド・応援席への挨拶も実施しない。速やかにベンチを空け会場から移動する。

## 新型コロナウイルスの影響下における参加チーム遵守事項

1. チーム代表者は選手及びスタッフが以下の事項に該当する場合、チーム帯同を見合わせること。
  - ・体調が良くない場合。(例：発熱・咳などの症状がある場合)
  - ・同居家族及び身近な人に感染が疑われる方がいる場合。
  - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
2. 移動時の対応
  - ・出発時に選手及びスタッフに検温及び上記を確認し、チェックリストに記入すること。
  - ・可能な限り、小グループでの移動を心掛け、マスク着用、換気等の対策を行うこと。
3. 会場における感染防止対策
  - ・飲水ボトルを共有しない。(各自個人毎の準備)
  - ・ごみは個人で管理し、収集、持ち帰り処分すること。(密閉すること)
  - ・会場内に準備してある消毒液とポンプ型石鹸で手の消毒をこまめに行うこと。
  - ・プレー以外中はマスク着用のこと。(熱中症が懸念される状況下では、距離を保ったうえでマスクを外す)
  - ・飲みきれなかった水やスポーツドリンクは指定場所に捨てること。
4. 事後対応
  - ・大会後にチームから新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者へ報告すること。